

# 「資材購入先指定方式」の試行結果について

## ——リバーソオークションを活用して——

国土交通省関東地方整備局技術管理課

まちだ よしゆき  
 工事品質確保係長 町田 悦幸



### 試行の目的

関東地方整備局では、建設資材の価格調査において、我が国の公共事業において初めてリバーソオークションを活用した「資材購入先指定方式」を試行することになりました。

試行については、「建設資材の適正な価格競争を促進する」「価格決定に至るプロセスについて透明性を確保する」および「資材価格構造を把握し今後の資材価格に反映する」ことなどを目的としています。



### 「資材購入先指定方式」の概要

「資材購入先指定方式」とは、建設資材の価格

調査においてリバーソオークションを活用することにより最低価格者を選定し、その最低価格者が発注者によって建設資材の品質確保についても妥当な者と判断された場合、建設資材の「購入先指定者」として決定し、対象工事の発注において設計図書に建設資材の購入先として指定する方式をいいます。

リバーソオークションの入札において提示された最低価格についても、公表したうえで対象工事の発注における予定価格の積算にあたって建設資材の価格として採用されることとなります。

図 1 資材購入先指定方式の模式図により「資材購入先指定方式」の全体について概要を表します（詳細説明は、本誌2006年12月号 p 30～を参照下さい）。

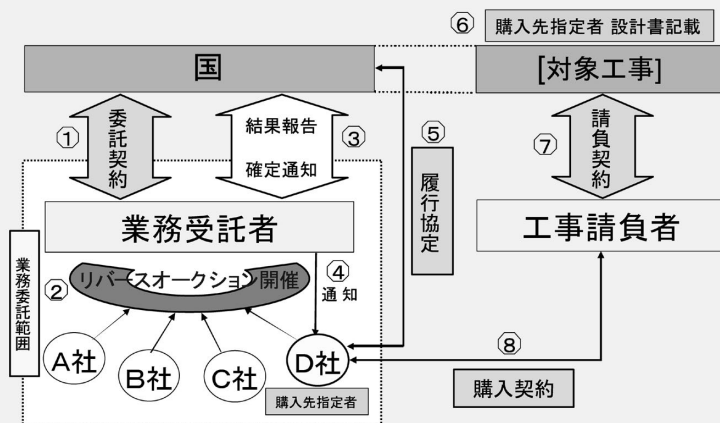


図 1 資材購入先指定方式の模式図

### 3

## リバースオークション業務の発注

リバースオークションの役務業務の発注は、下記のとおりとなりました。

- ① 入札方式：一般競争入札（開札：平成18年11月16日）
- ② 業務種別：役務の提供等（その他）
- ③ 落札者：ディーコープ（株）

### 4

## リバースオークションの実施

リバースオークションについては、下記のとおり実施しました（図 2 リバースオークションのフロー参照）。

(1) 対象資材，対象工事

#### ① 対象資材と仕様

対象資材は，PC 鋼より線および定着具，鋼製排水溝の 2 件としました。

1) PC 鋼より線および定着具の仕様

PC 鋼より線 12S15 2B (SWPR 7 BL)  
24,829kg

定着具固定用，緊張用 付属品一式 60個

2) 鋼製排水溝の仕様

幅225×溝深さ60×長さ1,200,前面開口可能，溶融亜鉛メッキ仕上げ付着量は JIS H 8461 HDZ55，ボルト・ナット類は HDZ35 48m

#### ② 対象工事

さがみ縦貫相模原 IC 上部（その 8）工事（神奈川県厚木市上依知地先）

#### (2) リバースオークションの結果等

#### PC 鋼より線および定着具

#### ① 公 募

公募の結果，最終参加申込者は 2 社となり，リバースオークションの活用を図り試行を行っている観点からすると不十分な結果でした。そのため効果が十分発揮されるような条件を再度検討し，再公募を行いました。

#### ② 結 果

最終参加申込者：3 社

開催日：平成19年1月18日 10:00～10:31

最優先交渉権者：(株)ケーティビー 落札

価格6,300,000円（開始価格7,360,000円）

削減額1,060,000円，削減率14.40%，入札回数 1 回

#### ③ リバースオークションの結果について

1) リバースオークションの結果は，開札から16分過ぎまで動きがなく，その後 1 社が入札す

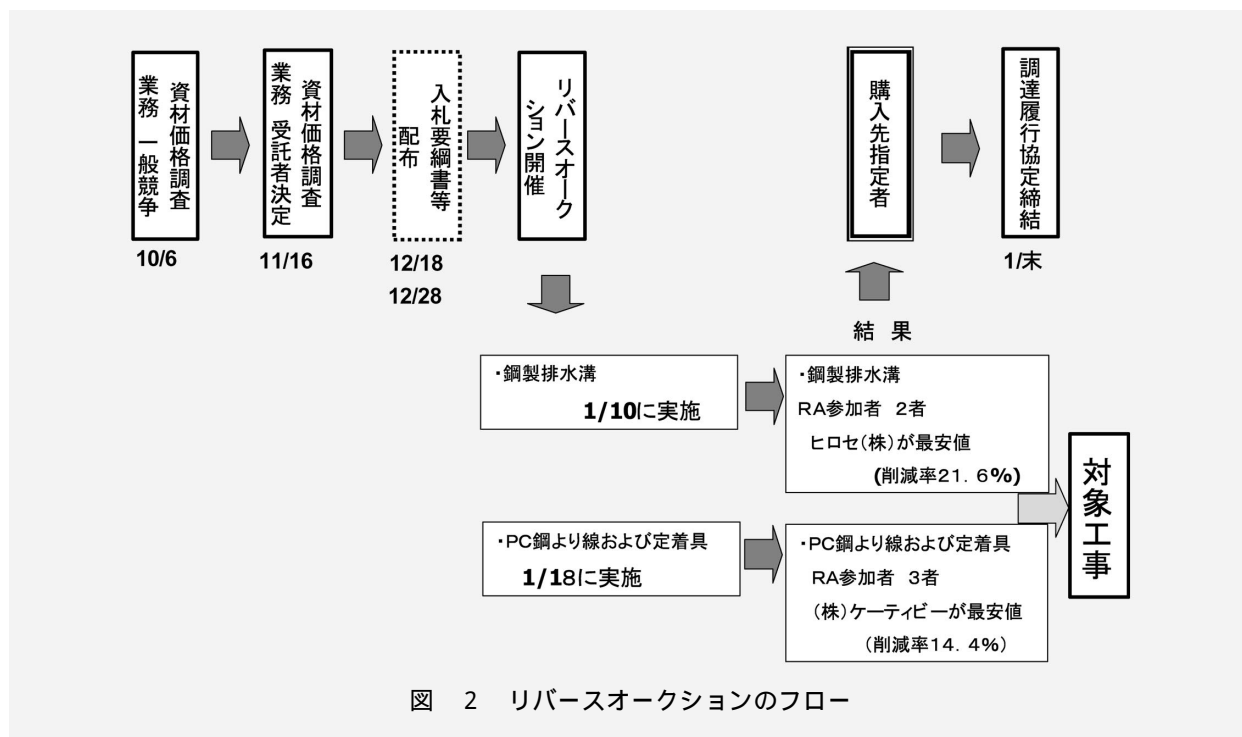


図 2 リバースオークションのフロー

るとそのまま終了しました。これは、他の2社が応札する意志がなかったのか、また最初の削減額が大きかったために追従できなかったのか、二つの理由が考えられます。結果としては目に見える形の競争とはなりませんでしたが、落札内容は開始価格から14.40%の削減となり一応の成果はあったと思われます。

- 2) 今回落札したPC鋼より線は、「国内の原材料を、国外で加工した輸入製品」です。
- 3) 国内産メーカーの入札がなかったものの、少なくとも国内でJIS規格の製品を、安く調達することが可能であることは確認できました。今後は、資材の品質確認、施工時の技術サポートなど指定された条件が遂行されるか確認することが重要と考えています。また、今後も引き続き試行が必要と考えています。

#### 鋼製排水溝

##### ① 結果

最終参加申込者：2社

開催日：平成19年1月10日 14:00~17:05

最優先交渉権者：ヒロセ(株) 落札価格

1,270,000円(開始価格1,620,000円) 削減

額350,000円, 削減率21.60%, 入札回数 37

回

##### ② リバースオークションの結果について

- 1) リバースオークションの結果は、参加者が2社ではありましたが入札が37回に達し、また落札内容も開始価格から21.60%の削減となり、競争性が発揮されたと考えています。

- 2) 今回の結果については、初のリバースオークションであり、数量が少ないこともあって、今後も引き続き試行が必要と考えています。

##### (3) リバースオークションへの注目度

今回の、リバースオークションを公募した際のホームページアクセス数は、図3に示すとおり「のべ672件」ありました。全国で初めてということもあり、競争参加者以外の会社からも注目され

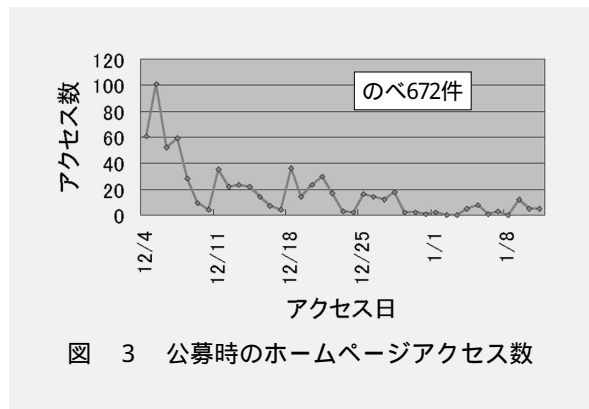


図3 公募時のホームページアクセス数

ていたことが窺えます。

## 5 試行結果の検証について

今回試行として、建設資材の価格調査にリバースオークションを活用することとしましたが、その成否は競争への参加企業をいかに多く募ることができるかにかかっていると思います。その結果、競争性が増し、価格競争が促進されることによって、市場取引の実例価格が把握できるものと考えています。

今回のリバースオークション結果については、PC鋼より線および定着具、鋼製排水溝ともに開始価格から削減があり、一応の成果があったと考えています。

## 6 おわりに

本試行については引き続き、価格構造や、価格決定のプロセスの透明性向上の検証を行うとともに、今後の建設資材の価格調査においても参考として活かせるよう検討して行く予定です。

また、今回試行にあたって、自治体等の皆様から問い合わせが複数ありました。自治体等においてさまざまな理由から今回試行について注目しており、入札方式等について試行錯誤されていることを窺い知りました。その皆様にも、今回の試行を一つのツールとして参考にしていただければ幸いに思います。